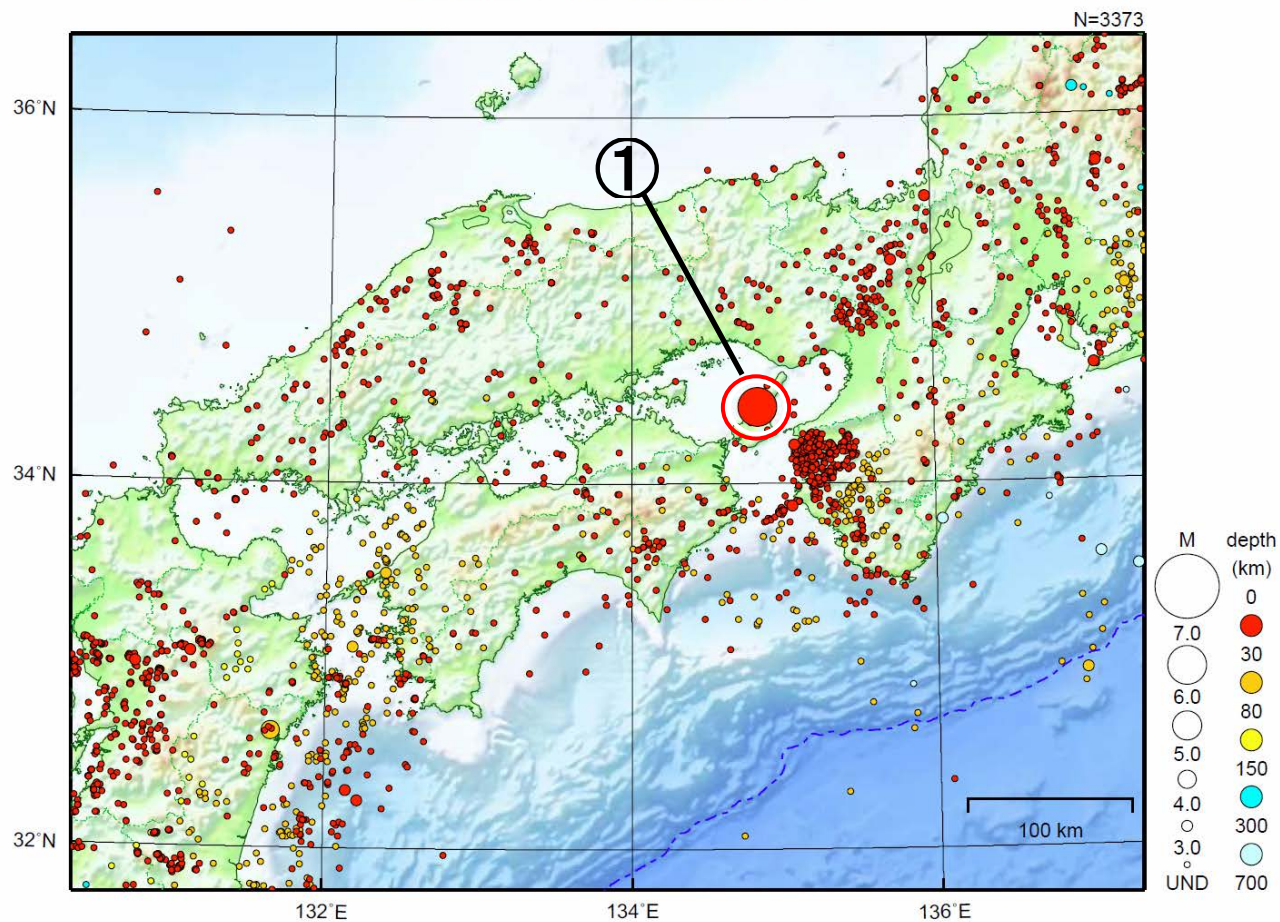


近畿・中国・四国地方

2013/04/01 00:00 ~ 2013/04/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

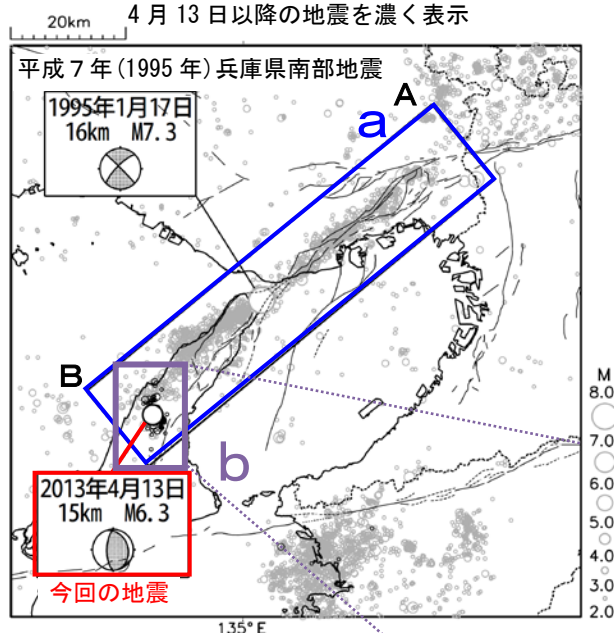
- ① 4月13日に淡路島付近でM6.3の地震（最大震度6弱）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

4月13日 淡路島付近の地震

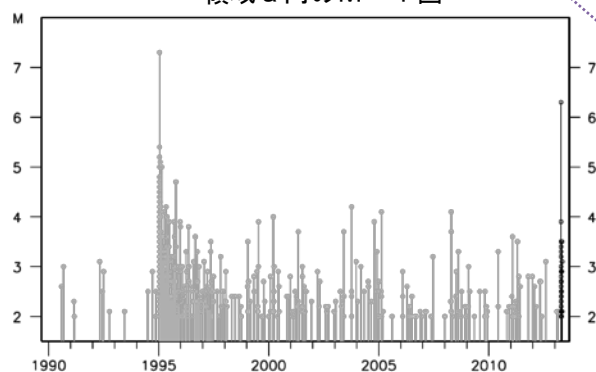
震央分布図

(1990年1月1日～2013年5月1日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
4月13日以降の地震を濃く表示

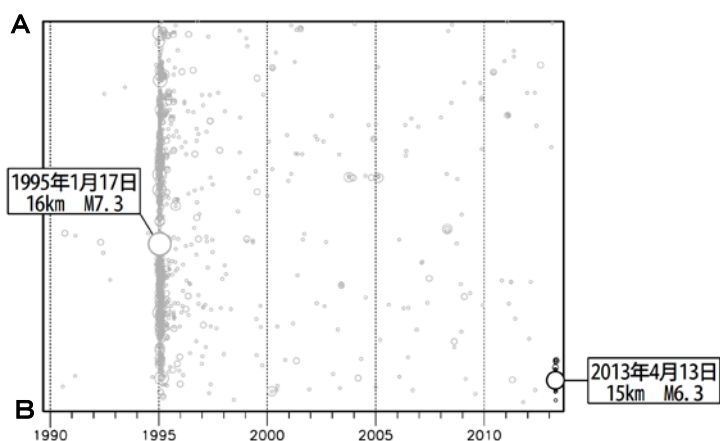


細線で地震調査研究推進本部による
主要活断層を表示

領域a内のM-T図



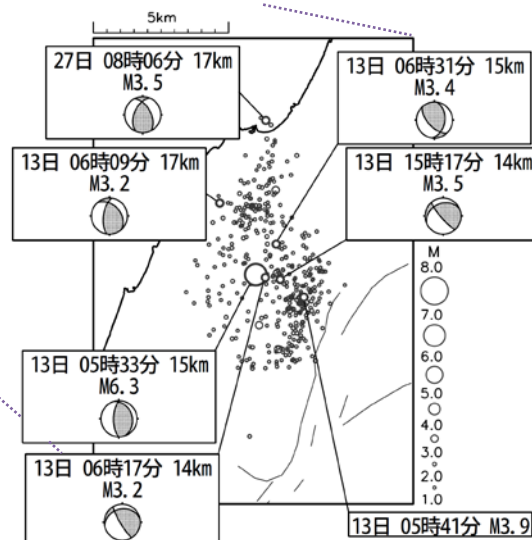
領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



2013年4月13日05時33分に淡路島の深さ15kmで $M6.3$ の地震(最大震度6弱)が発生した。この地震は、「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」の余震域の南西端に近接する領域で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。

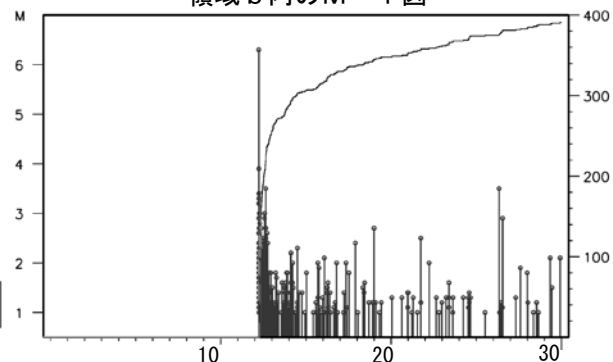
地震活動は本震-余震型で推移し、余震活動は減衰してきている。これまでの最大余震は、この地震の約8分後に発生した $M3.9$ の地震(最大震度3)である。

領域bの震央分布図
(2013年4月1日～5月1日、
深さ10～20km、 $M \geq 1.0$)



細線で地震調査研究推進本部による
主要活断層を表示

領域b内のM-T図

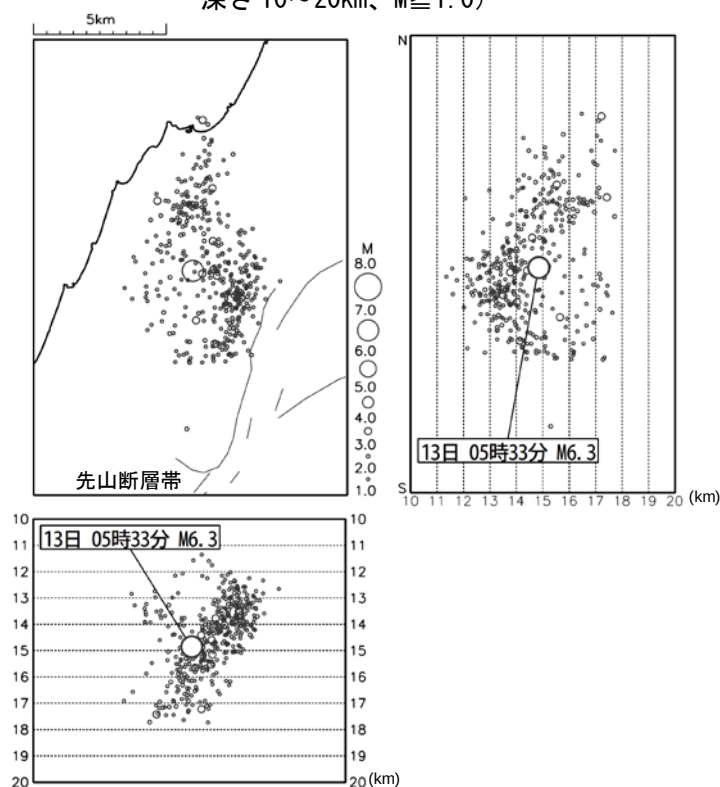


今回の地震の余震分布と本震の発震機構から推定される震源断層は、南北方向に延びる西傾斜の逆断層と考えられる。

今回の地震により、負傷者 34 人、住家全壊 4 棟等の被害が生じた（総務省消防庁による）。

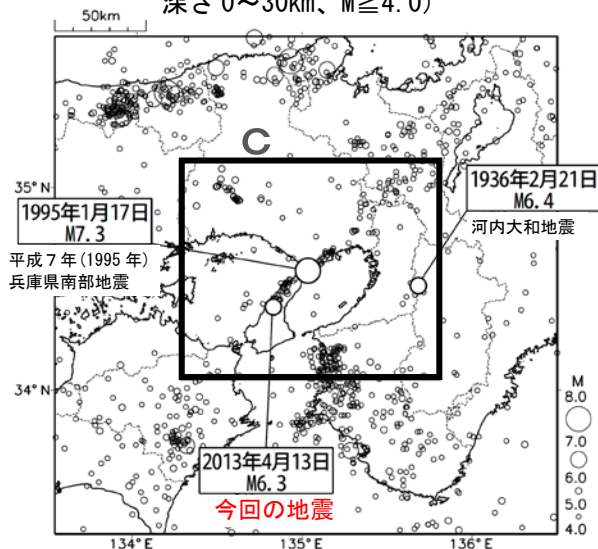
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 c）で M6.0 以上の地震は、今回の地震のほか、「平成 7 年（1995 年）兵庫県南部地震」、および 1936 年の河内大和地震がある。

領域 b の震央分布図と断面図
(2013 年 4 月 1 日～5 月 1 日、
深さ 10～20km、 $M \geq 1.0$)



細線で地震調査研究推進本部による
主要活断層を表示

周辺の震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2013 年 5 月 1 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 4.0$)



領域 c 内の M-T 図

